

歯周病と 糖尿病

歯ぐきが赤くはれる、歯ぐきから出血するなどの症状は歯周病のサイン。一方、のどが渇く、足がつる、体がだるいなどは糖尿病特有の症状です。二つの病気はお互いを悪化させ、歯周病がきっかけで糖尿病が進行することも珍しくありません。

糖尿病はコワイ病気

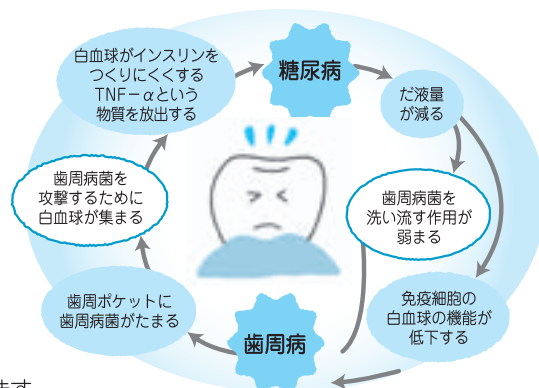
糖尿病とは、血液中の糖分をエネルギーに変えるインスリンの働きが低下する病気です。放っておくと脳卒中や心臓病、失明などの重篤な合併症を引き起こします。初期は自覚症状がないことから、徐々に動脈硬化や神経障害が進行していきます。そのうち尿の回数が増えた、よく食べているのにやせてしまったという症状などが現れるようになり、やがて深刻な合併症に…。

歯の検診や歯周病の治療に行って、糖尿病が判明したというケースもあります。糖尿病の患者は、身体の抵抗力が低下しているため歯肉の炎症などを起こしやすい人が多いからです。

互いは悪循環の関係

糖尿病と歯周病は影響しあってお互いを悪化させる「悪循環」の関係にあることが近年の研究で明らかになってきました。糖尿病になると、だ液の量が減って歯周病菌を洗い流す作用が弱くなり、菌の増殖しやすい環境が整います。そのうえ、免疫細胞である白血球の機能が低下するため、歯周病が治りにくくなるのです。

一方で、歯周病が糖尿病を悪化させることもあります。歯周病が進行し、歯周ポケットに歯周病菌がたまってくると白血球がそれを攻撃するために集まり、TNF- α という物質を放出します。この物質は、血糖値をコントロールするインスリンをつくりにくくする働きがあり、その結果、糖尿病が一気に進むことがあります。



ます。

この悪循環を断ち切るため重要なのは、早いうちに歯周病に気づくことです。歯科医院などでプラークや歯石をしっかり取り除いてもらい、健康な歯を取り戻すようにしましょう。また、毎日ていねいに歯みがきしましょう。歯周病を合併した糖尿病の患者に歯周病治療をしたところ、血糖値が改善した例も数多くあります。

歯科で治療を受けるとき…

糖尿病の人が歯科医院で治療を受けるときは、注意が必要です。抜歯や小手術の際に、一時的に血糖値のコントロールが悪くなる場合があります。このようなときは、事前に糖尿病の主治医に相談しましょう。また、歯科医には「血糖値が高い」「糖尿病の治療を受けている」といったことを忘れずに伝えるようにしましょう。

無料歯科健診について

～提携歯科医院も増えて、さらに充実度アップ～

本年度も「歯科健診センター」の協力を得て、当健保組合員(ご本人・ご家族)の方を対象とした「無料歯科健診」を実施いたします。むし歯や歯周病の早期発見のためにも是非ご利用ください。お近くの医院が選択可能で、しかもお好みの時間・メニューを選んで受けることができます!!

好評につき
24年度も実施します!



1 対象

横河電機健康保険組合に加入している被保険者及び被扶養者

2 受診費用

無料*年2回(6ヵ月に1回)受診できます。

3 受診場所

歯科健診センターが提携する全国の歯科医院
(歯科健診センターのホームページでご確認ください)

お申し込みは「歯科健診センター」までお願いします。

*希望日の1週間前までにお申し込みください。

歯科健診センター

Webでのお申し込み

<http://www.ee-kenshin.com/>

iモードでのお申し込み

<http://www.ee-kenshin.com/i/>

※フリーコールとFAXでの申込は終了しました。

詳細は当健保ホームページを
ご覧ください